

成田空港の機能強化について

国土交通省
令和2年3月

成田空港の機能強化について

2018年3月の地元合意に基づき、成田空港の機能強化を実施。2028年度末の供用を目指して整備を進める。

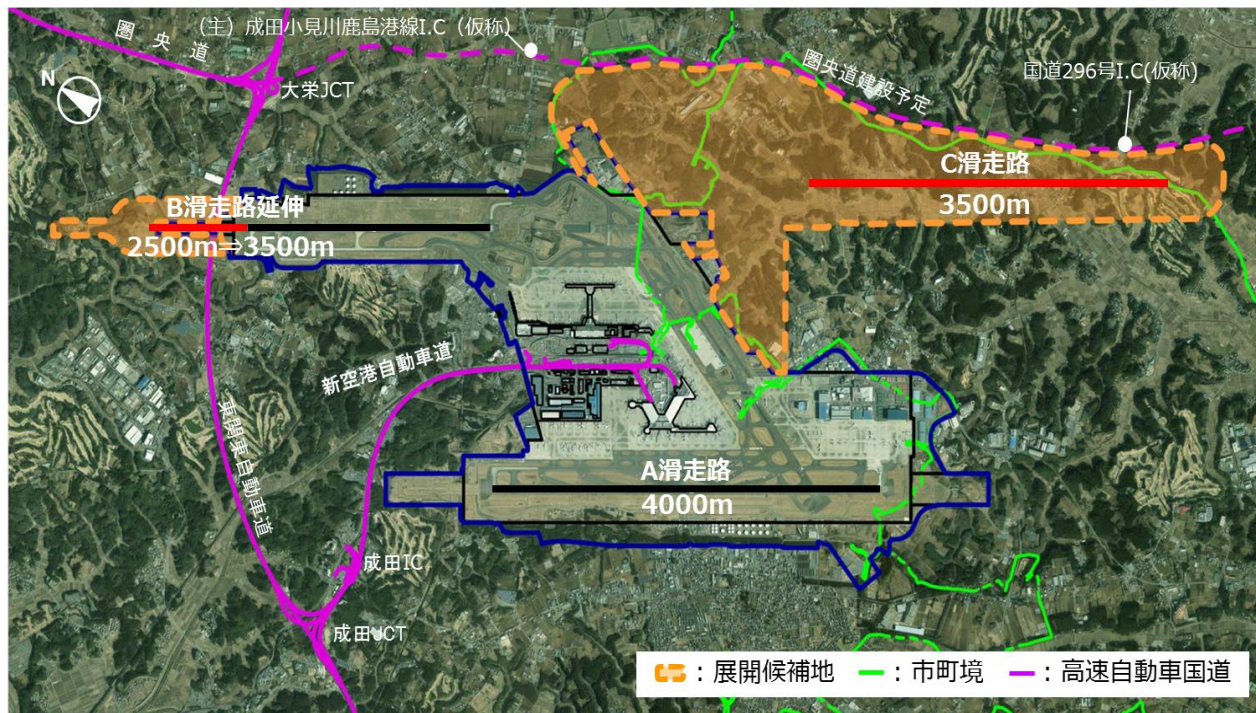
A滑走路の夜間飛行制限の緩和

- 2019年冬ダイヤ(10月27日)より、A滑走路の運用時間を、6-23時から6-24時に延長 *新B・C滑走路の供用開始まで

B滑走路の延伸(2500m→3500m)

C滑走路の新設(3500m)

- 成田会社法に基づき国土交通大臣が定める基本計画を改定(R1.11.5)。
- 国土交通大臣より成田空港会社に対し、航空法に基づく空港施設の変更許可を実施 (R2.1.31)、今後整備を開始。
- 供用後は、「スライド運用」により、5時～0時半の運用時間を確保、年間発着容量50万回を実現。



国からの支援

空港整備勘定

出資 (財務基盤の強化 : 300億円)

成田国際空港株式会社

財政融資資金

財政融資 (4,000億円)

B滑走路延伸・C滑走路新設
用地取得等
(事業費 : 約5,000億円)